



平成30年8月23日

報道機関 各位

日本地図学会大会の開催

富山大学人文学部を会場に8/26（日）～8/29（水）の期間に「平成30年度日本地図学会定期大会」が開催されます。日本地図学会の定期大会が富山県で開催されるのは今回がはじめてです。今回の大会では国際地図学協会会長メノー・ジャン・クラーク氏もSDGsと地図に関する基調講演をされます。

学会は下記日程で実施しますので、報道方よろしくお取り計らい願います。

日本地図学会平成30年度定期大会

日時 8/26（日）～8/29（水） * プログラム参照

特徴的な内容

- ・ 地図指導のワークショップ（8/26 13時～）：
2022年から高校で必修科目となる「地理総合」での地図指導に関するワークショップ（15時以降、松川沿いをフィールドワーク）
- ・ 西日本豪雨災害に関するポスターセッション（8/27 13時～）
- ・ シンポジウム「オリエンテーリングと地図」（8/27 14時～）
- ・ 国際地図学協会会長メノー・ジャン・クラーク氏講演（8/27 16時～）
講演タイトル「SDGs 指標の地図化への挑戦」

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学人文学部（大西宏治）
TEL 076-445-6184
FAX 076-445-6141
ohnishik@hmt.u-toyama.ac.jp

平成30年度定期大会のご案内

今年度の定期大会は、富山地学会との共催にて、富山大学五福キャンパス人文学部での開催となりました。初日の8月26日午後には、ワークショップ・フィールドワークからなる特別企画「地図学カレッジ」を開催いたします。27日・28日には、口頭・ポスター発表、地図・図書の展示に加えて、国際地図学協会（ICA）会長の特別講演、「オリエンテeringと地図」に関するシンポジウム、「西日本豪雨災害対応」のポスターセッションなど、バラエティに富む企画を用意しています。また、29日には黒部川扇状地での巡検も企画されています。どうぞお楽しみください。

開催期日

平成30年8月26日（日）13:00～17:00、27日（月）9:45～19:30、28日（火）10:30～15:30、29日（水）9:10～17:00 巡検

会場および会場へのアクセス

会場 富山大学五福キャンパス人文学部 〒930-8555 富山市五福3190番地

アクセス JR富山駅前の富山地铁・市内電車「富山駅」停留所にて2系統（大学前行）に乗車（約15分）、終点「大学前」停留所下車 徒歩で正門まで約5分

または、JR富山駅南口バスターミナル3番のりばにて富山地铁・路線バス「富山大学前経由」に乗車（約20分）、「富山大学前」バス停下車 正門まですぐ

※詳しくは、<https://www.u-toyama.ac.jp/access/index.html> をご参照下さい。



大会参加費

普通会員・特別会員団体構成員・共催団体会員：2,000円 学生会員：1,000円 非会員：3,000円

※ 参加費には発表論文・資料集代も含まれます。定期大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望される会員には、一冊700円（送料込）で頒布します。

※ 3日間ともに地図・図書展示、の見学は無料です。

※ 26日開催の「地図学カレッジ」も参加は原則無料ですが、資料代（1,000円）の必要なセッションがあります。

※ 懇親会費は5,000円

※ 巡検参加費は4,000円（バス代、資料代）

その他・詳細についてのお問い合わせ先

学会事務局 〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6 一般財団法人日本地図センター2階

日本地図学会事務局 電話・FAX:03-3485-5410

E-mail:info@jccacj.org ホームページ: <http://jccacj.org>

プログラム

会 場

受付・総合案内： 人文学部校舎3階 ラウンジ

第1会場（特別講演，口頭発表，シンポジウム）： 人文学部校舎3階 第6講義室

第2会場（ポスター発表，地図・図書・書籍展示，

西日本豪雨災害対応ポスターセッション）： 人文学部校舎3階 第5講義室

第3会場（特別企画「地図学カレッジ」，評議員会）： 人文学部校舎2階 第3講義室

会員休憩所： 人文学部校舎2階 第3講義室（企画等のない時間帯），人文学部校舎3階 ラウンジ

懇親会会場： カフェ AZAMI

第1日 8月26日（日）13時00分～17時00分

時間	題目・氏名	掲載ページ
	<p>《特別企画》 13時00分～17時00分 「地図学カレッジ（富山）」 2022年から始まる 高校必修科目「地理総合」へ向けて 指導要領・解説の公開を受け、国土地理院のWeb GIS「地理院地図」の4月に始まった新しい機能やiPadなどのフィールドワークに適した地図アプリや調査用白地図等のベースマップを紹介するワークショップ，ならびにARを使ったフィールドワークを実施します。</p> <p>【ワークショップ】 「地理総合」の授業でこのように使ってみよう 講師： 1. 太田 弘（慶應義塾普通部、日本地図学会常任委員） 2. 伊藤 智章（静岡県立裾野高校） 協力 ㈱ゼンリン マップデザイン事業本部 ほか、地図とGIS専門部会 部員による講義とワークショップを開催します。 *参加費：資料代1,000円が必要です。 ゼンリンフィールドワークキット「まち探検キット」を使用します。 参加希望の方は無線ルーターとコンピュータ，もしくは通信機能のあるiPadやタブレットをお持ちください。</p> <p>【フィールドワーク】 スマートフォンとARを使った富山のまちあるき ～「ますのすし」のひみつ～ 講師： 大西宏治（富山大）</p>	第3会場・富山市街地

地図・図書等の展示時間：13時00分～17時00分

時間	題目・氏名	掲載ページ
	《地図の利用と認知》9時45分～10時30分	第1会場
9:45	O-1 大学生の地図帳利用と地図表現される空間情報の認知との関係 落合康浩(日本大)	2
10:00	O-2 オンライン調査に基づく地図利用の世代間比較 若林芳樹(首都大)	4
10:15	O-3 首都圏居住者における居住地選好の特色 井村博宣(日本大)	6
	《地図作製》10時30分～11時15分	第1会場
10:30	O-4 『戦前期外地火災保険特殊地図集成』について 辻原万規彦*(熊本県立大)・青井哲人(明治大)・角哲(名古屋市立大)	8
10:45	O-5 市民活動で集約したバリア情報と歩道マップ作製の試み 熊谷新*・荒松拳・佐藤昌貴・原島克則・石川剛(東京地図研究社)	10
11:00	O-6 空間情報による「立山ざらざら越え」の考察 秋山幸秀・酒井拓也(朝日航洋)	12
	《防災と地図》11時15分～11時30分	第1会場
11:15	O-7 災害対応を支える空間表現の新技术—日本地図学会防災委員会の設置によせて— 宇根寛(国土地理院)	14
11:30	《休憩》11時30分～11時35分	
	《ポスター(一般発表)紹介》11時35分～11時50分	第1会場
11:35	P-1 ジオパーク地図における地形表現方法の検討—茨城県北ジオパーク構想を対象にして— 今泉利架(朝日航洋)・小荒井衛(茨城大)	36
11:38	P-2 Station names in Japan: a perspective from representation Tianqi Xia, Xiaoya Song, Min Lu, Xuan Song, Ryosuke Shibasaki (The University of Tokyo)	38
11:41	P-3 西の鯖街道マップの作成～紙地図とクラウドマップの融合～ 平間元輝・原雄一(京都学園大)	40
11:44	P-4 カラコラム山脈パス—氷河における1967～2015年の末端範囲の地図化と空間変化 梶山貴弘(日本大)	42
11:47	P-5 東京大学柏図書館が所蔵する紙地図のデジタルアーカイブ化の試み 鍛冶秀紀(東京大)・Lu Min(九州大)・Si Ruochen(東京大)・有川正俊(秋田大)・小口高(東京大)	44
	《地図・図書展示のデモ紹介》11時50分～12時00分	第1会場
11:50	国土地理院 海上保安庁 地図情報センター 日本水路協会 朝日航洋 柏書房 東京カートグラフィック 東京地図研究社 北海道地図	54
	《昼休み》12時00分～13時00分	

12:10	評議員会(12時10分～12時50分)	第3会場	
13:00	《ポスター発表コアタイム、地図・図書展示デモ、 西日本豪雨災害ポスターセッション》13時00分～14時00分	第2会場ほか	
14:00	《シンポジウム》14時00分～16時00分	第1会場	
14:00	Sy-1 オリエンテーリングと地図ーウルトラヘビーユーザーの視点からー 第1部 主旨説明 小林岳人(千葉県立千葉高) 基調講演「オリエンテーリングと地図」について 村越 真(静岡大) 第2部 ～「走りながら読める地図」を目指して～ 誇張と省略の基礎理論 西村徳真(Nishi Pro) 「地図が読める」から「地図が使える」へ: 地図コミュニケーション理論を超えて 村越 真 「オリエンテーリングと地図」～学校教育における万能の教育ツール～ 小林岳人 第3部 総合討論 総 評		46
16:10	《ICA 会長 特別講演》16時10分～17時10分 L-1 ICA, maps, and challenges of mapping SDG indicators data Menno-Jan KRAAK (ICA President, University of Twente)	第1会場	51
17:30	《懇親会》17時30分～19時30分	カフェ AZAMI	

地図・図書等の展示時間: 10時00分～17時00分

第3日 8月28日(火) 10時30分～15時30分

*は登壇予定者

時間	題目・氏名	掲載 ページ
10:30	《海洋情報と地図》10時30分～11時00分 O-8 航程線についての「舵角」用語の再検討 政春尋志(東洋大)	16
10:45	O-9 海上保安庁海洋情報部「海洋情報資料館」所蔵の石版原図 亀井啓一郎*(立正大・非)・君川静夫(ユーリバー)・ 戸田真夏(青山学院大・非)・青木訓穂(JA さがみ)	18

	《地図学史》 11 時 00 分～12 時 00 分	第 1 会場	
11:00	O-10 伊能忠敬磁針測量方位角原簿国宝「山島方位記」の文理融合解析オープンサイエンス 辻本元博（地球電磁気地球惑星圏学会会員）		20
11:15	O-11 明治初期フランス地図測量技術の導入とその後—明治 20 年代の『地形學教程』への影響— 細井將右		22
11:30	O-12 明治初期における我が国の NGIA の成立過程 佐藤 潤（国土地理院）		24
11:45	O-13 わが国の地形図読図史からみた籠瀬良明『地図読解入門』 ト部勝彦（日本大）		26
12:00	《昼休み》 12 時 00 分～13 時 00 分		
	《測量・観測と地図》 13 時 00 分～13 時 45 分	第 1 会場	
13:00	O-14 電子地図を活用した道迷いによる山岳遭難の防止 原 雄一（京都学園大）		28
13:15	O-15 空中写真と SfM-MVS 技術による山間地の積雪深マッピングの検討 中埜貴元・大野裕幸（国土地理院）		30
13:30	O-16 UAV を用いた測量実習と地図描画 黒木貴一（福岡教育大）		32
	《地域資源と地図》 13 時 45 分～14 時 00 分	第 1 会場	
13:45	O-17 立山黒部ジオパークの現状と目標 水嶋一雄（黒部川扇状地研究所）・山岡勇太（立山黒部ジオパーク協会）		34
	《巡検案内》 14 時 00 分～14 時 15 分		
14:00	黒部川扇状地地域の環境と社会 水嶋一雄（黒部川扇状地研究所）		
	《休 憩》 14 時 15 分～14 時 30 分		
	《ICC (国際地図学会議) 2019 東京大会にむけて》 14 時 30 分～15 時 00 分	第 1 会場	
14:30	森田喬（日本地図学会会長・法政大名誉教授）		
15:00	《地図展優秀賞表彰式》 15 時 00 分～15 時 30 分	第 1 会場	

地図・図書等の展示時間：10 時 30 分～14 時 00 分

第4日 8月29日(水) 9時10分～17時00分

時間	コース等	掲載 ページ
9:10	<p>《巡 検》9時10分～17時00分 黒部川扇状地</p> <p>黒部川扇状地地域の環境と社会</p> <p>集合：9:10 北陸新幹線「黒部宇奈月温泉」駅 改札口付近</p> <p>出発：9:30 ～ 黒部市・入善町を巡るコース～ (貸し切りバス)</p> <p>解散：17:00 北陸新幹線「黒部宇奈月温泉」駅前</p> <p>案内者：水嶋一雄(黒部川扇状地研究所)</p> <p>コース(予定)</p> <p>黒部宇奈月温泉駅～愛本(扇頂)～墓ノ木自然公園(段丘礫層)～舟見(北国街道宿場)～黒東第三発電所～小摺戸(黒部川旧堤防)～水の小径～入善(黒部川扇状地研究所)～杉沢の沢スギ～高瀬(扇端湧水)～園家山砂丘(一等三角点, 海岸浸食)～海洋深層水パーク～黒部川河口～生地(黒部漁港, 扇端湧水)～宮野運動公園(扇央の俯瞰)～黒部宇奈月温泉駅</p> <p>1:25,000 地形図「三日市」「舟見」「泊」「青木」</p>	